

ルルドの丘

2016
12月
No.36



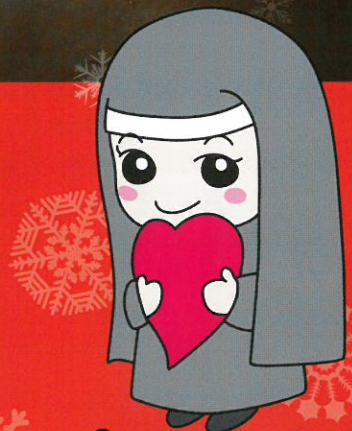
社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな



めぐみん

みことば

愛のまなざし

あなたと会った人が
会えて良かったと、より良い気持ちで帰れるよう、
そんな接し方をいつもしてください。

あなたは、神さまの愛の表現になってください。
愛があなたの顔にもまなざしにも
あなたのほほえみにも、挨拶にも
いつも表れているように。

子供たちにも、貧しい人たちにも、
身も心も、悩む人たちにも、
明るいほほえみをいつも絶やさないでください。

ただお世話するのではなく、
あなたの心を人にささげてください。

アルド・チブリアニ

きらりん

利用者の思いを自己実現につなげて

介護福祉士 河野 朋子

恵の聖母の家では利用者のニーズが何であるか、そこに向かってどのように支援していけば良いかを常に考えて、医療職、福祉職、訓練士、その他の職員が担当者会議やケースカンファレンス、そしてご家族との面談を通して個別支援計画に沿った支援を行っています。今年、利用者の一人がこれまでの活動をまとめた一つの作品集を作りました。ご本人が足や手を使って描いた絵やパソコンを用いて作った詩、またシャッターが自分で切れるように工夫されたデジタルカメラで撮影した景色が載せてあります。作品集は病棟ホールに置いて、職員や来園者に見ていただいています。

作品集の完成も良かったのですが、何より利用者ご自身の満足が一つの自己実現につながったという嬉しさを支援者として感じています。はじめは「どのような生活を送りたいですか」というアセスメントが一つのきっかけになりました。その時は「芸術的なことがしたい」という希望でした。具体的にうかがうと、パソコンを使って知人とのメールのやり取りの希望、絵画活動の再開の希望、他者の写真活動に影響されて自分も行いたいという願望を支援者に教えてくれました。パソコンやデジタルカメラ、そして購入したテレビを福祉職や訓練士などが連携して工夫し、操作が本人自身できるようになると、今度は作品出展の意欲も聴かれるようになりました。学生の頃、支援学校の先生から詩集のプレゼントを受けて詩に興味を持っていたことから、詩にも取り組み、ご家族への思いを詩にすると、それがご家族の喜びとなり、本人の活動意欲が更に増したこともありました。

その方のこれまで体験されたことや希望の一つひとつを多職種で連携し工夫したこと、活動が他の者の喜びにつながった体験など、実現へのステップや周囲の専門性と協力が本人主体の自己実現につながったのだと感じています。

これからも専門性を磨きながら多職種と共に役割分担を行いながら利用者の自己実現に向けて支援したいと思います。



巻頭言

施設長 佐藤 圭右

十一月十七・十八日に、日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会が、福永拙西日本施設協議会会長のもと、ここ大分県で開かれました。

この会は、滋賀県・奈良県・和歌山県以西で重症心身障害児者が入所する施設の、理事長、施設長や総看護師長・看護部長、事務長などが参加し、施設の運営や福祉のあり方について率直に意見交換などする場だと自分は考えています。そこで、恵の聖母の家も大分県の施設として、積極的に運営に関わらせていただきました。

今回の会で、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室の大西延英室長補佐からの行政説明や、日本重症心身障害福祉協会の児玉和夫理事からの報告、また西日本施設長会独自ですが、沖縄の富山先生からインフルエンザ、島根の伊達先生から骨折の調査報告などがありました。さらに、大分県の特徴を活かし、両腕が生まれつき不自由なメス猿「サヤカ」の話とともに、特別講演「高崎山のサル社会」を高崎山管理公社衆猿（らくえん）案内担当班藤田忠盛氏にいただきました。いずれも、新たな知見を得、日頃の取り組みを

改めて考え直す、よい契機になったのではないかと感じました。

その中でも、特に議論が深まったのが、「重症心身障害看護の新たな取り組み」をテーマとしたシンポジウムではなかったかと思えます。そもそも、看護師不足に対する方策として、待遇の改善もありますが、それ以上に重症心身障害看護の魅力をもう一度考え、それを訴えることで、看護のモチベーションを上げ、ひいては求人につながれば、ということでは企画しました。そのシンポジウムで、重症心身障害福祉協会認定・重症心身障害看護師という資格と診療看護師（NP）を取り上げ、それぞれの紹介と今後の役割を、九州地区の協会認定・看護師研修会のお世話をされているむつみの家の今川洋子看護部長と日本NP協議会の草間朋子会長にお話しいただき、実践報告が別府発達医療センターと恵の聖母の家から行われました。別府発達医療センターの藤井智恵子看護部長と恵の聖母の家の藤井智恵総看護師長両座長の名進行もあり、二時間半のシンポジウムはあっという間でしした。協会認定・看護師もNPも、それぞれの存在が他の看護師を刺激し、看護力の向上が図れているとい

う報告もあり、言い過ぎかもしれませんが、看護あつての重症心身障害児者施設だという思いも共有できたと思います。

☆

この二日間の会議の後、別府発達医療センターと恵の聖母の家に分かれ、施設見学が行われました。私どもの恵の聖母の家には三十名程度の方が見学にみえました。施設の建物自体はもう三十年以上経ったもので、胸を張ってお見せできるものではないかもしれません。しかし、カトリックの精神に基づいた気持ちの面を何とかご理解いただけるように、利用者さんに普段関わっている職員だけでなく、陰となつて支えてくれている事務、営繕、用務などの職員も一丸となつて準備し、見学者をお迎えることができました。

その中で、見学された皆さんからいただいた感想の中に、「ここ（恵の聖母の家）は、ゆったりした時間が流れているような気がする。」という言葉をいただきました。この言葉は、ご利用者家族からもよくいただきます。ここで働いている私たちには、当たり前過ぎてあまり感じる

ことがありません。しかし、他施設から見ると、職員がせこせこ（忙し）わ）しくしていないように感じられるそうです。

これは、利用者本位で動いている職員の心がけによるものかもしれません。ただ、その違いをよく職員同士で話すのですが、明確な答えはまだ見つけられていません。

この良いと思われる点を今後も大切にし、変えるべき点は新たなものを取り入れながら大胆に変えていつて、時代の要請に応えられる施設になつていきたいと考えます。





▼各部署の声です。今年度の目標は「[共生]相手を丸ごと尊重する」



私の健康法

内科医 田中 達三郎

人の寿命はDNAによって決められていると言われています。癌にならないければ五年以上延びる様ですが、DNAを調べると何の癌になり易いかわかるらしいです。我々は予防に気を付けるしかありません。私は大腸検査を二年毎に受けております。

私が先ずやっているのは歯の管理です。食後は歯を磨きます。というより歯の掃除をします。もつと若い頃からやるべきだったと後悔しています。何とか八〇二〇は達成しました。食事は三食ちゃんと食べています。朝はパンと味噌汁、昼は麺類、夕は米飯をとります。燻製品は避けて乳製品をとり、栄養ドリンクも飲んでいません。アルコールとカフェイン飲料は身体に合わないので飲みません。人に問われると「私は変人です」と答えております。塩分は特に制限しておりません。食欲が乏しい時はナウゼリンを服用して脂物をとり過ぎた時はメバロチンを飲みます。体重は近年、殆ど変わりありません。これ以上減らないように気を付けたいと思います。タバコは吸いません。長年タバコを吸った人の肺は真っ黒です。でも長寿の方もおられるのが不思議です。運動は何もやっておりません。万歩計は三千歩から五千歩位で恥ずかしいです。身体を鍛えることが長寿につながる事とは思っておりません。でもある程度は身体を動かす必要があると思います。

入浴は熱い湯は避けています。竹瓦温泉は高温で一分位しか我慢できませんでした。心臓には良くないでしょう。

睡眠も大事です。若い頃は夜眠れず困ったこともありましたが、最近ではよく眠れて有り難いです。昼寝はめったにしません。夜間の頻尿と足のひきつりが時々ありますが、薬は使っておりません。近年便秘気味となり、アローゼンを飲んでおります。

平均寿命に達しましたが、お陰で老眼鏡も補聴器も要らずに過ごしております。膝や腰も痛くありません。両親に感謝です。最近、約一センチの段差で二回も転倒しました。やはり年齢には勝てません。ぼけ防止に麻雀ゲーム、パチンコ等をしていきます。元気なチヨイ悪爺さんが私の理想です。

最後に、しずか号について。勝手ながら母親の名前を付けさせていただきました。皆さまに喜んでいただいで大変有り難いです。元気に走っているところを見ると嬉しくなります。どうぞ可愛がってやって下さい。



“しずか号”を前に



チャリティーリサイタルと私の関係

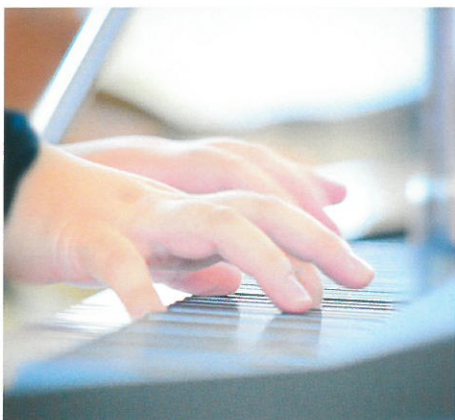
言語聴覚士 柴田 水澄子

この原稿を書いている今、季節は秋です。秋といえば芸術の秋。といっても今から書くことは少し先のことでこの冬にあるピアノリサイタルのことです。十六年前にこのピアノリストのことを知り、以来大分公演がある度に足を運んでいます。演奏が素晴らしいだけでなく、演奏会の収益を動物愛護団体や紛争地域の子どもたちへ寄付するチャリティーリサイタルを行っているところもファンになった一つの理由です。

これは、本当に、私の勝手な思い込みと失礼を覚悟して書きますが、この不定期に開かれるピアノリサイタルと、(詳細は省きますが)これまでの私のささやかな節目や転機とが不思議と重なるのです。このピアノリストが現れると私の生活や考え方に変化があるよという予告やお告げのように感じます。

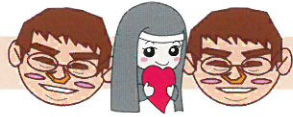
今年の冬に大分公演があると知り、(私としては)やはり今回もいろいろな意味で自身の転機と重なるなあと(勝手に)思っています。

仕事でいえば、主任という立場になって二年目となりました。以前は自分の業務だけに目を向けていただけでしたが、それに加えて訓練課全体のことを考えなくてはいけなくなり、業務と責任が増えました。充実という言葉に置き換えられるのかもしれませんが、試行錯誤と自身の勉強がまだまだ必要です。訓練課



の業務が患の聖母の家の一つの機能として上手く回るように発信しないといけない責任。しかし自分の力量のなさに反省。外来をはじめ、訓練課スタッフ、また各課の関係者の方の協力と助けをいただながらそれに感謝しつつ日々が飛ぶように過ぎていくといった状態です。当面の目標として、五年という任期の中で次の世代の人たちに仕事のバトンが渡せるようにまとめていくこと。まだまだ試行錯誤の最中の未熟な主任で皆さん(特に訓練課職員の方)にご迷惑をかけていますが、この場を借りてよろしくお願いいたしますと頭を下げる次第です。

おっと、忘れないうちにチケットを購入しなければ…。良い席はお早目にですね。



栄養課



全国重症心身障害者施設 職員研修会栄養士・ 調理師コースに参加して

調理師 中野 絵美

今回初めて給食業務にかかわる研修に参加させて頂きました。私にとっても身近である給食に関する研修であったためとても興味深い研修内容でした。

会場では全国から多数の施設が参加するとあって人も多くただ圧倒されるばかりでした。

講演は私には理解の難しい内容もありましたが講演の一つに発達期嚥下調整食分類についての内容がありました。食事形態毎の食べやすさの違いをV/F検査の動画と共に発表されていてとても見やすい内容でした。普段、病棟の食事風景をあまり見る事がないため、ほんの少し形態が違うだけで食べやすさに違いが大きく出る事がこの講演で良く理解できたように思えます。

事例発表の方で特に印象に残ったのは最近大分でもあった熊本地震についての発表でした。地震後ライフラインが回復するまでの一日ごとの経過や準備しておいて良かったもの、状況に応じての非常食の使用方法など具体的な内容の発表だった為取り入れやすい内容でした。地震についてグループ討議の話し合いでもどの施設も備蓄を増やしたり連絡方法の再確認などされているようでした。当施設では幸運にも被害が少なかったため実際の災害時の話しを聞くことが出来たのは良かったと思います。



他に今回のグループ討議は施設の規模の差が大きかったようで、人数によるやり方の違いや人材の育成方法、リスク管理の対応の仕方など様々な話を聞くことが出来ました。

今回三日間の研修を通して施設内外のネットワークの大切さや食事の大切さを改めて学ぶことが出来ました。これからもおいしさを考え、一つのデータにこだわらず、利用者さんの生活にそった食事を提供できるようにしたいと思います。

心理



みなさんの趣味は 何ですか？

心理療法士 原 志織

心の健康を保つためには、ストレスの発散やケアが大切という話をよく聞きますね。ストレスを溜めないことがまず大切ですが、溜まってしまふものは仕方ないので、上手に発散していきましょう。いろいろな方法がありますが、ここでは趣味に関連した話をご紹介します。

聞いた話によると、「自分で作る趣味」「受動的に楽しめる趣味」「強制的に出かける趣味」の三つの趣味があると人生とても楽しいんだそうです。

「自分で作る趣味」というのは、料理を作る、絵を描く、植物を育てる、といった、新しく生み出す趣味のことです。裁縫や習字なども当てはまりますね。

二つ目の「受動的に楽しめる趣味」というのは、テレビやゲーム、小説といった、動き回らなくても様々な内容が提供される媒体の趣味です。音楽を聴いたり、動画を観たり、ネットを開いているだけで、あつという間に時間が経ってしまいますよね。

三つ目の「強制的に出かける趣味」というのは、散歩や旅行、ドライブといった、家から出かけて体を動かす趣味です。好きなアーティストのライブへ行くのも、このタイプの趣味になります。

この話を聞いてから、自分や周囲の人たちがどんな趣味をもっているのか、少し気にかけるようになりました。プラモデルが趣味だと言うあの方は、「自分で作

る趣味」を謳歌していますし、漫画やアニメが好きなあの人にとっては、「受動的に楽しめる趣味」に浸る時間がとても大切です。ライブが好きな方もたくさんいるようです。

もちろん、この三つの趣味は利用者さんにも当てはまるものですよね。好きなテレビ番組があったり、野菜や金魚のお世話をしたり、外へ散歩や買い物に出かけるのも、とても楽しい時間のはずです。みなさんも、ご自分の趣味がどのタイプなのか考えてみてください。足りない趣味や新しく始めてみたい趣味が見つかったら、楽しい時間が増えるかもしれませんね。



8月2日(火)
ふれあい交流会

支援学校訪問教育学級の児童生徒と支援学校教職員との交流を深めることを主な目的として毎年夏に開いています。今年はいよりの広場のホールで開かれました。訪問教育学級の学生の挨拶から始まった交流会、内容はエイサーや空手の演武、そして歌や生演奏など盛りだくさんで、今年もたくさんの方々と一緒に音楽等を通して楽しい時間が過ごされました。先生方、参加された皆さま、ありがとうございました。



8月10日(水)
防犯訓練

恵の聖母の家病棟ホールにて恵の聖母の家・児童発達支援センターめぐみ・潔き聖母の家の職員合同で警備会社の指導による防犯訓練(さすまた操法訓練等)を行いました。入所・利用者の人権や命を護れるよう、今後活かしていきたいと思っております。



8月15日(月)
聖母被昇天祭・故利用者追悼ミサ

潔き聖母の家、恵の聖母の家、そして児童発達支援センターめぐみの関係者で亡くなられた方のためにお祈りを捧げました。ミサの中では、「日本では8月15日はお盆や終戦の日であり、またフランシスコ・ザビエルが来日した日なので日本に縁がある日である」とのお話や、今支援を必要としている人に適切な支援が行って行けるように皆でお祈りを捧げました。



9月10日(土)
家族の日～ファミリーフェスティバル～

“家族で地域の方々と文化的交流をはかることで親睦を深め、楽しい一日を過ごす”を目的として交流ホームで開きました。今年には“スコップ三味線”“吉野臥龍梅太鼓”の皆さまに演奏いただき、盛大に開くことができました。曲に合わせてスコップから鳴り響く音色と統率のとれたパフォーマンスや掛け声ににぎやかな雰囲気を作り出したスコップ三味線、一方、静けさの中からずしりと響く、緊迫感のある演奏の吉野臥龍梅太鼓。とても惹きつけられるものでした。また今年も病棟ホールには恵の聖母の家関係者の作品を展示し、楽しんでいただきました。地域の皆さま、そしてボランティアの皆さま、ご協力いただき、ありがとうございました。



5月19日(木)
平成28年度日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会

2日間にわたり、大阪の大阪国際交流センターホテルで開かれました。永年(10年)にわたって重症心身障害児者療育に尽力された職員の表彰式並びに協会認定重症心身障害看護士の認定式が行われました。当施設からは10年表彰が1名そして2名が協会認定重症心身障害看護士の認定を受けました。



6月11日(土)
第33回 ふれあい運動会

午前中、地域交流ホームを使って入所者、通所利用者、そのご家族、そして関係者の方々と一緒に身体を動かして楽しみました。「みんなで楽しみながら運動会を頑張ろう」のテーマに合わせて、選手が自分の力を発揮しやすいように競技も道具を工夫して行いました。簡単な操作で円盤を遠くに飛ばせる大きな投げきやボウリング形式の競技などで高得点が出る度に大きな歓声があがっていました。全体のダンスでは手に紙飛行機を付けて、365日の紙飛行機を踊りました。最後はみんなで紙飛行機を会場で飛ばして楽しみました。今年も多くボランティアの皆さまにお手伝いをいただき、無事に終了することができました。皆さま、ありがとうございました。



7月8日(金)
臼杵消防署野津分署見学(トントンくらぶ)

自分たちの力を活かして制作活動を行う“トントンくらぶ”が今年の作品作りの題材を“緊急車両”に決めて、実際に消防署を見学してきました。消防車や救急車について説明を受け、消防車のはしごや放水、そして赤色回転灯の動きも実際に確かめることができました。他にも防火服を着用するなど、日頃できない貴重な体験ができました。臼杵消防署野津分署の皆さま、ありがとうございました。



7月23日(土)
別府大学短期大学部初等教育科 人形劇研究会マープル公演

マープルの皆さんがドキドキわくわく歌って楽しい“ミュージックパペットショー”と題して素敵なパペットと一緒に楽しい公演を開いてくれました。プログラムの中にはクイズもあって、観覧者も楽しく参加することができました。また話題のエピカニクスがあったり、パペットと触れ合える時間があったり、参加者にも笑顔が見られて、とても楽しい時間となりました。公演後は皆が退出するまで歌で送ってくれたマープルの皆さん、楽しい時間をありがとうございました!



6月30日(木) わさだタウン
参加者7名3家族の参加がありました。

広い店内を姉妹で移動でき、商品選びを楽しんだり、ご家族と一緒に過ごせて喜んだ人、活動時間は眠ることなく、しっかり参加できた人、また店員さんの声掛けや周囲の人の声を楽しんでいる人もいて、楽しい買い物となりました。



7月7日(木) 臼杵マルショク
参加者3名

買い物リストを見ては自分で商品を選択して希望通りの買い物ができた人、店員さんとのやり取りを楽しんだ人、商品(クッション)の感触や関心のある音の出る楽器を手にして楽しんだ人もいました。



9月15日(木) 施設外療育 明野アクロス
参加者6名 1家族の参加がありました。

参加者の何人かは会話や指さしで商品を選択して買い物を楽しんでいました。出発前から笑顔だった人はお昼の食事でも笑顔で、楽しい様子を感じられました。いつもとは違う雰囲気緊張していた人も食事や商品(玩具)を目にして環境に慣れていったようでした。ご家族と会話を楽しんだ人など、楽しい一日になりました。



9月29日(木) パークプレイス大分
参加者3名 3家族の参加がありました。

皆、ご家族との会話を楽しみながら洋服やCDなどを買いしました。全参加者にご家族が付き添うことになったので、一日の行動にも余裕ができて、ゆっくり時間が過ぎました。昼食でも笑顔が多く、楽しい一日となりました。



10月13日(木) 施設外療育 臼杵マルショク
参加者4名 1家族の参加がありました。

お母さんと一緒に真剣な表情で服を選ぶ人、付き添い者に「ここ」と声とサインで気持ちを伝えて、伝わったことに笑顔を見せる人、店内の雰囲気を楽しんでいる人など、それぞれに買い物を楽しんでいました。丁度ハロウィン前で、ハロウィン仕様のカチューシャを楽しむ人もいました。



5月12日(木) 施設外療育臼杵石仏
参加者4名 2家族の参加がありました。

石仏は高台にあるので、皆で坂道を上って石仏を拝観し、如来像前で集合写真を撮りました。高い所から景色を眺めて穏やかな表情で声を出したり、お母さんと一緒に線香をあげてお祈りをしたり。また周囲の人に微笑む様子があるなど、気持ち良い時間が過ぎました。



5月19日(木) 施設外療育 佐野植物公園
参加者5名

公園内の木々の下にテントを設営してお昼ご飯は恵の聖母の家から運んだのでピクニック気分になりました。散策ではデジタルカメラで撮影を楽しんだり、温室の植物を見ながら親子で会話を楽しんだ人、展示してある電車に乗って楽しんだ人もいました。他に足浴を楽しむなど、リラックスした一日になりました。



5月26日(木) 施設外療育 臼杵マルショク
参加者5名 1家族の参加がありました。

リバーパーク犬飼の予定でしたが雨天のため、臼杵での買い物に変更となりました。はじめは眠そうでしたが、ご家族と一緒にになると徐々に穏やかな表情に変わった人や周囲のお客さんの声や音、パンの香りに笑顔を見せたり、商品にしっかり目を向ける人、また日頃使うシャンプーやリップクリームなどを購入するなど、買い物を楽しみました。



6月23日(木) 施設外療育 臼杵しまむら
参加者4名

買い物ではリストを見て、お金と購入品を手にとって満足そうな笑顔を見せた人、買った品物を興味深く見ている人や穏やかな表情で見つめた人など、店内で参加者の気持ち良い表情がたくさん見られました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「共生」相手を丸ごと尊重する

児童発達支援センターめぐみ



夏から秋の出来事

児童発達支援管理責任者 丸山 久幸

◆七月 夏遊び
児童の夏休みが始まる七月の後半は、生活介護の利用者と放課後等デイサービスを利用する児童が一緒になるので、共に楽しめる計画を立てています。感覚遊びを中心とした「夏遊び」もその一つです。

風やシャボン玉、紙風船に触ったりしながら、紙風船の紙の音やカカカとした感触で楽しめました。みんなで紙風船を使ってバレーを行うと、支援者の必死な様子に笑顔が多くみられました。

◆八月 フラダンス公演

フラダンスのボランティアをお招きして、ゆったりした曲や素敵なダンスを鑑賞して楽しめました。フラダンスの手や身体の動きに込められたメッセージを感じた方もいたようで、うっとりとした表情を見せる人もたくさんいました。公演の中では参加者もレイヤースカートを身に付けて、一緒に踊って楽しみました。公演後はフラダンスの皆さまにセンターめぐみから指スタンプで作った夏のカードをお礼としてお渡ししました。

◆十月 ハロウィン・ポッチャ

十月といえばハロウィンです。いつも行うポッチャもみんなでハロウィンの仮装をして行いました。衣装を身に着けるだけでなく、一人ひとりの表情が生き生きしてきて、いつもの活動も華やかな雰囲気になり

ました。ちょっとおしとやかに澄ましてみたり、凜とした表情で気合を込めて投球するお友だちもいました。みんなで楽しく過ごしました。

◆十一月 現場実習

十一月は「現場実習」の時期です。卒業後の一つの生活のスタイルとして支援学校高等部の学生さんが実習に来られます。今回は高等部三年生が、学校生活最後の実習という事で、「挨拶を頑張る」「自分で選び決める」「できる事(手伝い)をする」を目標に掲げ、担任の先生とセンターめぐみで実習を頑張りました。

活動では利用者間の交流、そして電動車を操作しながらお手紙や活動物品の運搬に取り組みました。ご本人も緊張があつたようですが、元気に四日間の実習をやり遂げて、みんなホッとしました。



フラダンスを楽しみました

事務



燃えよ体

事務 庄司 木綿菜

運動不足を実感している事務職の今日この頃、何か継続して行える運動をしないと不味い！と思いつき立ちさっそく検索。

今までの運動の記憶を掘り起こす。あまりの厳しさに一日で除隊してしまったビリーズブートキャンプは無かったことにすると、コアリズムはやればくびれが出る。カービィダンスは肩甲骨を主に動かすので肩こりが大分解消される。効果はあると実感するのに、長続きしないのはなぜなのか？

DVDは講師に従って踊るからか、どうにもやらされている感が拭えない。講師に習い「フーワード」と勢い良く片手を上げて踊ってみても、精神がアメリカ力ナイズされていない私からすれば、「この人は生きている次元が違うのだ」と感じるだけでテンションなど上がるはずもなく、気が付けば止めている。

そこで今回目を付けたのが一人用トラップリン。自分の好きなペースで跳べてDVDを見る必要もない。つまり、動画を見ながら好きな音楽を聴きながら！運動が出来る。え？それは…私に最適なのでは??というわけで購入しました。トラップリン。検索を掛けてみても良いことしか出て来ない情報化社会に溺れつつ、怪しんで跳んでみるも思った以上にこれが良い。壁にスマホを立て掛け、ニコニコ動画やYouTubeを親ながら飛ぶと時間なんてあつという間に思える。

とりあえず毎日十分、まずは軽く飛んで間にジャンプスクワット十回×三セット、その後の二時間を全力で飛んで、残りは体力次第でウエストを捻ったりしています。現在継続三か月。まだまだ冷えからこの季節。筋肉を増やして体の中からメラメラ燃えて、今日も元気に書類と戦います。





看護課



協会認定重症心身障害 看護師になって

看護師 工藤 佳絵

「子どもには母親、守る人がいるんだよね。」以前勤務していた病院の小児科医が言いました。長い外来診察を終えて、ほやきに近い言葉でしたが、その言葉が私に響いて、この先看護師を続けるなら、子どもに関わる仕事がしたいと思いました。縁があったからということもありましたが、私は選んで、患の聖母の家に就職しました。それから十二年、無事に楽しく勤務することができています。

私は、この度、協会認定重症心身障害看護師の認定をいただくことができました。認定を取得するまでの長い道のり、たくさんの方にお世話になり、支えていただいたことに本当に感謝しています。それと同時に、認定という重みと役割に対する責任を感じています。協会認定重症心身障害看護師は、日本重症心身障害福祉協会の認定で、重症心身障害の看護分野における専門的な知識・技術をもって、質の高い看護実践活動と指導的役割をする看護師です。認定の取得のために、教育機関で指定されたカリキュラムの学習、実習の研修と、看護研究を行い、研究論文またはレポートで認定審査を受けます。研修期間中は、肩こりと視力低下と眠気と戦いながら、ほぼ毎日パソコンと向き合っていました。

そうして無事に取れた認定ですが、大切なのはこれからです。認定重症心身障害看護師として自分自身が真剣に看護を

行い、重症心身障害児者を取り巻く課題に取り組んでいかなければなりません。重症心身障害児者は、これから重症化、高齢化、在宅志向化することなどが予測されます。患の聖母の家の利用者さんの生活を大切に守りながら、これからの課題に目を向けて、認定重症心身障害看護師としての役割を考え、活動を行っていきたいと思います。

重症心身障害児者看護だけでなく、看護、医療は日々進化し、変化します。変化に対応できるよう、未来をみながら、看護の力を信じて認定の活動を行っていきたいと思います。



生活福祉課



古稀のお祝い

介護福祉士 亀井 洋子

患の聖母の家が開設されて三十二年目。利用者の平均年齢は四十四・九才で、六十五才以上は全体の九五%を占めています。九月で七十回目の誕生日を迎えられるAさんもそのうちの一人。今回、古稀を迎えるにあたり、お祝いの席を設けました。

遡ること誕生日の二カ月前、着物を新調するために明野アクロスタウンに出掛けました。「淡い薄緑は？」「長寿を象徴する菊の文様は？」お店の人に勧められどれにしようか迷ってしまいます。数々の中から、古稀の祝い色でもある紫をベースに上品で華やかさのある藤色を選択。足元に向かって落ちついた藤色から薄墨色へとグラデーションになっていて白い小さな花の文様ある着物です。花柄や明るい色が好きなAさんにぴったりの着物を選びました。

誕生日当日はお兄さん夫婦もご招待し、一緒にお祝いをしました。出来上がった着物に袖を通すと「ワァ」と声を出し、満面の笑みを見せてくれました。お化粧もして皆にお披露目をしました。「とってもお似合いですよ」みんなからお祝いのメッセージも沢山いただきました。テレビ画面にはAさんが生まれた年の大分の風景を映し出しました。セピア色の町並みが時の流れを感じさせ、改めて七十年って凄いと感じました！

古稀のお祝いの記念として写真館に出

張してもらい、お聖堂で家族写真を撮りました。ステンドグラスの天使やマリヤ様が見守る中、撮影開始です。はじめはやや緊張した面持ちでしたが、兄妹水入らず和やかな雰囲気にもまれ、優しい時間が流れていきました。

昼食には鯛の尾頭付き、赤飯、紅白のお饅頭など、お目出度いものが並び、Aさんもお饅頭を頬張りました。誕生日に素敵な着物を着て、大好きな家族に囲まれ、おいしいものを食べながら、笑顔をみせるAさん。とても良い一日だったのではないのでしょうか。出来上がった写真は、ナースステーションに飾り、皆にみていただいています。その凛とした表情は自信と貴族に満ち溢れています。





保護者の 皆様から



相談員さんと出会って… 笑顔で過ごす日々

私は2人の子を持つ母です。長男は小学1年生で長女は四歳です。長男は3歳の時、保育園に入ると集団生活に馴染めず、クラスには入れず…。水道の水を出してはずっと触っていたり、運動会や発表会に出ることが苦手で、先生におんぶされて過ごしたりしていました。そんな時に担任の先生から療育を勧められて、大分市内の療育を受診して言語聴覚士（ST）と作業療法士（OT）の訓練を受けるようになりました。

それから少しずつですが成長してくれて、順調に過ごしているようでしたが、年長さんになって担任の先生が代わったりSTの先生が代わったりした途端、園に馴染めず、訓練室には入れず…。親としていろいろと試してみましたが様子が変わらないので悩んでいたところ、恵の聖母の家の相談員さんと出会いました。

相談員さんと話し合い、就学を考えて地元の療育機関の利用を勧めてもらって、恵の聖母の家の外来を受診。まずは慣れるまでOTの訓練のみを受けることになりました。環境の変化に弱い息子が、緊張しながらも楽しそうにOTの訓練を受け始めたのを見て、

とても嬉しかったのを覚えています。そして、1人で悩んで苦しんでいた私に、“相談員さん”という心強い相談相手が出来ました。

相談員さんは保育園との話し合いにも同席してくれて、円滑に話を進めてくれました。保育所等訪問支援事業ではOTの先生が保育園に月に2回訪問して、息子の対応の仕方や気持ちを切り替える、切り替えスイッチの入れ方等、保育園の先生に細かく指導してもらえて、園の先生も息子への対応がすごく楽になったと話してくれました。

それから小学校に進学するための話し合いも“こころ”の相談員さんが同席してくれて、放課後等デイサービスの利用等を提案してくれました。入学後も定期的に学校側と話し合いを持ち、息子にとってより良い環境作りや指導をしてくれています。

小学校へ楽しんで行く息子の姿を見ながら、勇気を出して相談して良かったなと思いました。（ご家族より）



支援学校 訪問教室



授業と スマイルフェスティバル

大分県立臼杵支援学校 教諭 河野 悦子

4月より小学部1年生の児童2名を担当させていただいています。早いもので7ヶ月が過ぎ、1年間の折り返しに入っています。訪問授業にあたっては、体調管理をはじめ、車いすへの移動、カセットデッキやサイドテーブルの準備など施設職員及び保護者の方にご協力いただきありがとうございます。授業では、手探りの中ではありますが、たくさんの活動を行ってきました。「季節を感じよう」では、いちご、ぶどう、梨等の果物の匂いをかいだり、塗り絵をしたりしました。「感触を楽しもう」では、スライムに挑戦しました。指でつついたり、握ったりしました。Aさんは、最初は、触ろうとしませんでしたが、私と一緒に触ることを繰り返すうちに自分から触ってみる姿も見られました。また、Bさんとも、一緒にたくさん触りました。長く伸ばしてスライムが上か

ら落ちてくる様子を見るのはとても楽しかったです。

10月に行われた、「イムラスマイルフェスティバル」は、小学部は「ミュージックタイム」と題し、合奏、歌、踊りを発表しました。1年生2名もリスとウサギに扮し、「山の音楽家」の曲に合わせて合奏をしました。楽器はトライアングルとツリーチャイムで、どちらも練習を重ねとてもよい音色を出すことができました。当日は、合奏の様子をビデオで流し、会場のみなさんに観ていただくことができました。

今後も、季節の様子や学校の行事等と関連をさせ、充実した授業に取り組んでいきたいと思っています。ご協力よろしく申し上げます。



★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。 ①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言



- ①工藤文恵 (くどう ふみえ)
- ②医療事務 (外来受付) ③大分市
- ④スポーツ観賞。主人が野球、子どもがテニスをしていて、時間があればこっそり応援へ行っています。
- ⑤一年間、事務所でのお世話になりましたが、もう少し医事の現場に近づきたいと思い、発達外来に移ってまいりました。子どもたちの笑顔と声に癒されています。今までの経験を活かし、精いっぱい頑張りたいと思いますので、皆さま、よろしくをお願いします。



- ①齊藤昌美 (さいとう まさみ)
- ②保育士 ③豊後大野市
- ④音楽を聴くことです。最近は地元(大分)のバンドにはまっていて、ライブに行っていて楽しんでいます。ジャンルは関係なく、何でも聴いています。
- ⑤初めての環境で戸惑いはありますが、利用者さんとたくさん関わっていきたいです。よろしくをお願いします。



- ①清水千佳 (しみず ちか)
- ②託児所保育助手 ③津久見市
- ④美味しいものを食べに行くことです。最近は大在にある“やどかりカフェ”に行ってきました。ピタパンとって大きなパンと一緒に出てきたコーンや野菜を自分で詰めていただきます。食べ方も楽しめて味も美味しかったです。お店もミシンの台をテーブルにして昭和レトロな感じを楽しめると思っています。他は息子のサッカーの応援です。
- ⑤託児所の子どもたちから笑顔とパワーをもらっています。よろしくをお願いします。

恵を支えて下さる方々

昔ながらの

恵の聖母の家の歴史ある餅つき

餅つきが行われます。

十二月はあちこちで餅つきが行われます。恵の聖母の家でも毎年、餅つきがあります。ところで、恵の聖母の家の餅米がどこから来ているかご存知ですか。今をさかのぼること十五、十六年前。職員が身内の方に恵の聖母の家の餅つきについて話をしていたところ、名古屋に住む方から何の前ぶれもなく、臼・杵・餅米一袋(三十kg)が届きました。何と台は手作り！ビックリ!!

その後も収穫が終わった九月初めには、毎年餅米が一袋ずつ届きます。お陰で、毎月、十二月には恒例の餅つき行事が行えています。餅つきの他にも、お赤飯として創立記念日、入卒業式成人式、還暦、古希のお祝いなどで美味しく楽しくいただいています。名古屋の方に感謝しつつ、これからもこのつながりが続いて欲しいと願っています。



傾聴ボランティア

月一回、臼杵市から傾聴ボランティアの皆さまが来られて入所者のお話しに耳を傾けて下さっています。恵の聖母の家での活動が始まってもう十年以上になります。

傾聴ボランティアの皆さまは「相手に寄り添い、耳を傾け、心を聴く」ことを目的に活動さ

れています。病棟では入所者が日頃、活動で制作したものを一緒にみたり、本読みなどを通して気持ちを聴いていただいています。入所者もボランティアの方と過ごす時間がとても楽しく笑顔顔をたくさん見せてくれています。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。(広報)

お知らせ

皆さまに募集していただきました、恵の聖母の家のマスコットキャラクターがついに誕生しました！その名は「めぐみん」です！利用者、子どもから大人まで可愛く親しみやすいイメージがあつて、基本理念でもある「一人ひとりの命を大切にし、全ての人の幸福を願う」メッセージが込められていると思います。大きく長いベールはマリアさまの愛を示しています。よろしくお願ひ申し上げます。



人事

▼新規採用

二〇一六年 七月一日付

清水千佳 託児所保育助手

二〇一六年 十月一日付

齊藤昌美 保育士

工藤文恵 医療事務(外来受付)

▼退職

二〇一六年 八月一日付

看護師 佐藤奈津子

二〇一六年 八月三十一日付

看護助手 堀 早苗・中村早苗

二〇一六年 十月三十一日付

栄養課 阿部智美

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談
 ㊤…権利擁護・虐待防止部会 ㊦…全体朝礼 ㊧…労働安全衛生委員会
 ㊨…リスクマネジメント部会 ㊩…入浴日

2016年12月			2017年1月			2月			3月		
1	木		1	日	お正月行事	1	水	㊤ ㊩	1	水	㊤ ㊩
2	金	㊩	2	月	お正月行事	2	木	行事委員会	2	木	
3	土		3	火	㊩	3	金	節分 ㊩	3	金	雛祭り ㊩
4	日		4	水	㊤	4	土		4	土	
5	月	㊩	5	木		5	日		5	日	
6	火	㊤	6	金	㊩	6	月	㊩	6	月	㊩
7	水	㊤ ㊩	7	土		7	火	㊦	7	火	㊦
8	木		8	日		8	水	㊧ ㊩	8	水	㊧ ㊩
9	金	㊩	9	月		9	木		9	木	
10	土	クリスマスの集い	10	火	㊦ ㊩	10	金	㊩	10	金	㊩
11	日		11	水	㊧	11	土		11	土	
12	月	㊩	12	木		12	日		12	日	
13	火	㊦	13	金	㊩	13	月	㊩	13	月	㊩
14	水	㊧ ㊩	14	土		14	火	㊤	14	火	㊤
15	木	もちつき ㊨	15	日		15	水	㊩	15	水	㊩
16	金	㊩	16	月	㊩	16	木	㊨	16	木	㊨
17	土		17	火	㊤	17	金	㊩	17	金	㊩
18	日		18	水	㊩	18	土		18	土	
19	月	㊩	19	木	㊨	19	日		19	日	
20	火	㊤	20	金	㊩	20	月	㊩	20	月	
21	水		21	土		21	火	㊤	21	火	㊤ ㊩
22	木	㊩	22	日		22	水	㊩	22	水	
23	金		23	月	㊩	23	木		23	木	
24	土	サンタプレゼント	24	火	㊤ ㊟	24	金	㊩	24	金	㊩
25	日	クリスマスミサ	25	水	㊩	25	土		25	土	
26	月	㊩	26	木		26	日		26	日	
27	火	㊤ ㊟	27	金	㊩	27	月	㊩	27	月	㊩
28	水	㊩	28	土		28	火	㊤ ㊟	28	火	㊤ ㊟
29	木		29	日					29	水	㊩
30	金	㊩	30	月	㊩				30	木	
31	土		31	火					31	金	㊩

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。※予定変更の場合があります。

編集後記

ルルドの丘 36号が皆さまのお手元にある頃は、師走でお忙しい時期だと思います。申年は実を結ぶ年だそうですが、いかがだったでしょうか。来年は酉年です。安定した年だそうです。震災なき良き年となりますように。今年もありがとうございました。どうぞ良き年をお迎え下さい。来年もよろしく願い申し上げます。(S・M)